

日焼けトラブルを避けるために

衣類に用いられる染料は基本的には『赤』、『青』、『黄』が用いられているが、この中でも青色染料はほとんどの染料部属において分解し易く、直射日光や蛍光灯から発せられる紫外線や車の排気ガスやガスコンロなどからの窒素酸化ガス、植物の光合成などによるオゾンガスなどによっても容易に分解されます。

また、汗に含まれる塩分や皮脂などの分解物によっても染料が容易に分解されたり、発生する酸やアルカリによっても変色することが考えられます。

またこのような染色の劣化は、汚れを除去することで表面化したり、分解されかかった状態で繊維表面に残っているものがクリーニングによって脱落する場合があります。

これらの染料の変化を予防するには、長時間にわたる直射日光及び蛍光灯などの照射を避けて保管すると同時に、ガスとの接触を避け、ガスの反応を抑制するためにも乾燥した状態を保つ必要があります。

紫外線を避け、乾燥状態を保つための最適な保管方法としては、古い綿シートなどを被せておき、収納場所を乾燥した状態に保つことが求められます。

クリーニング後に包装されているビニール袋は湿気を排出することができず、衣類に水分が過剰に含まれた状態での蒸しが行なわれ染色や繊維が劣化することもありますので、使用は避けてください。

現在の染色技術では、変退色（一部の染料の分解や全ての染料の分解）を避けることは不可能であり、特に日本のような高温多湿であり、気密性の高い住環境が増えた現状ではより一層の注意が必要でしょう。

衣類のトラブルを防ぐことは、その衣類の所有者の注意が一番であり、クリーニング業者はそのサポートを行なうものであることをご理解下さい。